



グローバル人材育成教育学会

THE JAPAN ASSOCIATION FOR GLOBAL COMPETENCY EDUCATION

URL <https://www.j-agce.org/>

発行人 勝又 美智雄

2022年2月20日発行

ニューズレター No. 31

今回は、

- (1) 理事長退任挨拶
- (2) 会長退任挨拶
- (3) 理事会報告
- (4) 支部大会開催報告
- (5) 全国大会開催のお知らせ
- (6) 会員数報告

についてお知らせいたします。

【理事長退任挨拶】

グローバル人材育成教育学会の創成期

小野 博

2013年10月にグローバル人材育成教育学会を発足させることになった経緯と創成期の活動について記し、今後の展望を述べたい。

放送大学の退職後、昭和大学の客員教授として科研の研究を続けていた時、福岡大学から学長付きの客員教授として4年間、大学の改革に係ってほしいとの要望を受け、2012年4月に着任した。改革といっても何を始めたら良いかと考えている時、地元の九州経済団体連合会の教育部門の会合に誘われ出席し、地元の企業の講演を聞き1つのテーマが見つかった。

講演の内容を簡単にまとめると、近年、九州の企業を取り巻く国際経済環境は急激なグローバル化が進み、今までのビジネスモデルからの転換が求められている。従来、海外、特にアジア諸国の工場で安価で高品質の製品を大量に生産し日本に持ち帰り販売する方式が一般的だった。今後、日本の人口の減少が進み、国内市場が狭まることが予想される一方、アジア諸国では人口の増加や所得の向上が進み、購

買力も旺盛であることから、これらの国々の人々を対象とした新商品の開発やサービスを事業化し成功する企業が増えている。そのため、企業にとってはグローバル人材の大量確保が重要課題となり、多くの中小企業もグローバル人材を求めているが、中小企業自身ではグローバル人材を育てる余力がないことから、大学に「グローバル人材の大量育成及び輩出」を期待していることがわかった。大学には国際舞台で活躍するいわゆるグローバルリーダーだけではなく、中小企業や地域社会を支える大量のグローバル人材の育成と輩出を期待している、との話が強く印象に残った。

そこで、従来から行われていた海外研修を強化し、事前教育としての英語教育の中に、グローバル人材に求められるコミュニケーション能力や異文化対応力を高めるワークショップや講座を含めた短期集中型英語教育の実施を提案し、事業化した。

このプログラムが順調に動き出した所で、学会発表や大学での講演の際に新しい英語教育を紹介したところ、多くの大学の英語教員やグローバル人材育成の担当者から自分の大学でも実施したい、多くの大学の留学事情や海外研修、海外インターンシップやその事前研修の情報が欲しいとの依頼を受け、実績にある大学の担当者殿話し合いで一層のこと、学会を作り多くの大学の多様なプログラムを皆で共有したらどうかと話し合い、約80人の発起人を集め学会を発足させることになった。

2013年10月、グローバル人材育成教育学会の発会式及び第1回の全国大会を福岡大学で129人の参加者をもって開催した。記念講演は日産自動車の志賀俊之氏(当時COO)に依頼し、志賀氏から「日本の

大学生はもっともっと勉強してほしい。今、世界企業は英語と IT に強い学生を求めているが、英語ができ IT に強い学生ならインドにいくらでもいる。仕事ができる英語と IT に強い日本人の人材がほしい。日本の学生は就活で世界の精鋭に勝ってほしい。そのためには、もっともっと勉強してほしい。」と述べられたことが強く印象に残った。

その後、「グローバル社会と大学の可能性」と題するシンポジウムが志賀氏、廣實郁郎九州経済産業局長、勝又、小野らで NHK 早川解説主幹（故人）の司会で行われ、このシンポジウムは NHK の e テレで 1 時間番組として放送された。

このように学会は発足し順調に発展し、その後の全国大会は秋田（国際教養大学）、東京（明治大学）、大阪（大阪大学・関西大学）、北海道（北海道情報大学）、愛知（名城大学）、東京（芝浦工業大学）と順調に開かれたが、昨年度 2020 年度の全国大会は新型コロナのまん延のため、対面での大会を持つことができず、九州支部大会に合わせて鹿児島（鹿児島大学）から、Zoom による開催となった。

今年度 2021 年度は、現在、3 月 12、13 日兵庫（関西国際大学・武庫川女子大学）でのハイブリッド（対面と Zoom）による開催を目指し準備を進めている。また、学会設立 10 周年に向けて、記念大会の開催と書籍の発行に向けた企画が進んでいる。新型コロナがそろそろ収束し、大学の授業の正常化、学生の海外への留学や研修、インターンシップを取り戻すとともに、対面による全国大会の開催で会員同士の交流が進むことが期待されている。



【会長退任挨拶】

9 年間の回顧と展望

勝又 美智雄

ニューズレターは今月号が 2021 年度の最終号になると知り、ちょうど今年 3 月末日をもって会長職を辞することになった私の過去 9 年間の回顧と展望を簡単ながら述べたいと思います。

今学会が発足したのは 2013 年夏。第 1 回全国大会が福岡大学で開催され、第 2 回は私が設立発起人の一人でもあった秋田の国際教養大学。第 3 回が明治大学（東京）と続き、これまで 8 回の全国大会のすべて、および各支部大会のほとんどに、私は副会長、次に会長として現地に赴き出席し、その議論の内容を詳しく聞いて参りました。

その結果、この 10 年近くの間「グローバル人材」を求める声が全国的に広がり、それを担う人たちがこの学会の中心となってこれまで様々な試みをしてきたということを実感してきました。会員数も、当初数十人で始まり、それがまもなく 300 人を超える大所帯となり、極めて順風満帆な出だしであったと思います。

ところが 2019 年末から、実質的には 2020 年初頭から今年までこの丸 2 年間、コロナ（COVID-19）の大流行と、更にその変異種が次々に現れ、今日もまだその伝染病対策に世界的に追われている状況が続いています。

わが学会もその影響をまともに受け、会員たちの教育現場では学級閉鎖や臨時休校が相次ぎ、学生たちに対する指導も十分に行われにくいという大変な局面に直面してきました。しかしその中で現場教師たちの大変なご苦労により、対面授業と、当時普及して間なかった Zoom による遠隔授業との併用によるハイブリッド型の教室運営が急速に発展し、今日に至っています。昨年末の北九州支部大会では私も Zoom で参加したのですが、その発表する人たちの議論や、また研究発表・実践報告などに、これまで考えられなかったような新しい発見が幾つもあり、非常に力づけられました。この 3 月中旬に開催される全国大会兼近畿支部大会でも、恐らく同様に面白い挑戦の成果が次々に発表されるのではないかと期待しております。

そうした意味で、学会は世界中を席捲した伝染病による衝撃をまともに受けましたけれども、その中で現場教師たちの創意と工夫と新たなものへの挑戦ということが続いて、新しい授業のあり方、新しい教育指導のあり方というもの次々に開拓されつつあると思います。

私はこの3月末をもって会長職を辞しますが、新年度（2022年度）からは一会員となって、皆さんと共にそういう新たな挑戦を援護する役割を果たしていきたいという風に考えております。これまで9年間、副会長、会長として私を支えてくださった理事会の皆さん、とりわけ各支部の役員の方々の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございます。新年度はまた新しい役員体制で更に飛躍的に発展することを願っております。



【理事会報告】

理事会では、原則として毎月1回、メールによる審議を行っています。

1. 2021年12月度定例理事会

議案1 新規入会申請者14件（正会員12名、学生会員2名）の入会が承認されました。

2. 2022年1月度定例理事会

議案1 推薦理事(10名)の候補が承認されました。推薦理事は、理事の居住する地域及び研究分野

の均衡等を考慮して理事会が推薦し、総会の承認を受けることになります。

議案2 新規入会申請者12件（正会員9名、学生会員1名、賛助会員1社）の入会が承認されました。

議案3 外部の研究団体からのアンケートの周知への協力依頼について、承認されました。

【九州支部大会開催報告】

第7回九州支部大会を2021年12月26日（日）に佐賀女子短期大学にて、ハイフレックス（対面＋オンラインZoom）方式で開催しました。対面の参加者が27名、Zoomの参加者が25名、合計52名の参加となり、盛況で実り多い大会となりました。大会テーマ「コロナ禍における留学に関する学生の意向と現状」に伴い、半日のプログラムが構成されました。最初に、佐賀女子短期大学長澤雅春副学長により、地方短期大学のグローバル教育について基調講演をいただきました。そして、コロナ禍においても留学をした学生によるパネルトークを開催しました。国内外から大学生3名と高校生1名がzoomで登壇し、コロナという逆境に負けない力強さを育む留学経験となったことを報告してくれました。また、一般演題では2会場に分かれ、4個のZoom発表と9個の対面発表があり、それぞれの会場でZoom配信をしました。さらに、賛助企業展示は、対面3社、オンライン1社によるプレゼンテーションをしていただきました。Zoomにおける配信トラブルもほとんどなく、安定したスムーズな大会運営をすることができました。今後しばらく続くであろうコロナ禍における大会実施のモデルケースとなったと思われます。

【全国大会開催のお知らせ】

第9回全国大会・第2回国際遠隔会議

（関西支部・中部支部・関東支部・
中国四国支部・合同支部大会）

【大会テーマ】

グローバル人材育成の新時代：

経験知からの学びと教育

【開催日程・会場】2022年

3月12日（土）関西国際大学・尼崎キャンパス

13日（日）武庫川女子大学・中央キャンパス

【開催方法】

ハイフレックス：対面と遠隔配信の双方で実施

（感染状況により変更される場合があります。）

開催案内、プログラム等の詳細は学会HPに記載しています。HPをご覧ください、お申し込みください。

【会員数報告】2022年2月15日現在

正会員 243名

学生会員 12名

大学会員 2大学

賛助会員 16社

合計 273件

【文責】勝又美智雄 【編集】番田清美